

会員研究発表リスト－2007年4月～2008年3月－

池田 宏一郎 教授

- (論文) “A note on stability spectrum of generic structures”, 『京都大学数理解析研究所講義録』1555 (2007), pp.104-109.
- (論文) “A remark on a characterization of non-forking in generic structures”; *The Bulletin of Symbolic Logic*, 14巻1号 (2008).
- (発表) “A remark on a characterization of non-forking in generic structures”, Logic Colloquium 2007, Wroclaw University (Poland), 2007年7月18日.
- (発表) “Characterizing forking on generic structures”, Model Theory Summer Meeting in Tsukuba 2007, 筑波大学, 2007年8月7日.
- (発表) 「Generic 構造における forking の特徴づけ」, 日本数学会秋季総合分科会, 東北大学, 2007年9月23日.
- (発表) “Some remarks on generic structures”, RIMS 共同研究「モデル理論の手法による無限構造の構成法」, 京都大学数理解析研究所, 2007年10月30日.
- (発表) “On random Kripke frames”, RIMS 共同研究「モデル理論の手法による無限構造の構成法」, 京都大学数理解析研究所, 2007年11月1日, (岡本圭史氏との共同研究).
- (発表) “On generic Kripke structures”, RIMS 共同研究「モデル理論の手法による無限構造の構成法」, 京都大学数理解析研究所, 2007年11月1日, (岡本圭史氏との共同研究).
- (発表) 「自己同型写像の融合可能性について」, 日本数学会年会, 近畿大学, 2008年3月26日 (桔梗宏孝氏との共同発表).

石原 紀子 専任講師

- (査読論文) “Web-based curriculum for pragmatics instruction in Japanese as a foreign language: An explicit awareness-raising approach.”; *Multilingual Matters, Language Awareness*, 16巻1号, pp.21-40, 2007年4月.
- (語学教員用テキスト) “Ishihara, N. & Cohen, A.D. *Teaching and learning pragmatics: Where language and culture meet*. Teachers' guide for teaching and assessing L2 pragmatics.”; Center for Advanced Research on Language Acquisition, University of Minnesota, 2007年7月.
- (学会発表) “*Subjectivity, second/foreign language pragmatic use, and instruction: Evidence of accommodation and resistance.*”; American Educational Research Association, シカゴ大会, 2007年4月.
- (学会発表) “Tracing the development of teacher's knowledge and beliefs about the instruction of L2 pragmatics: The effects of a summer institute.”; American Association for Applied Linguistics, コスタメサ大会, 2007年4月.
- (学会発表) “*Teachers' professional development in L2 pragmatic instruction: A case study.*”; International Conference on Language Teacher Education, 第五回ミネアポリス大会, 2007年6月.
- (学会発表) “Cohen, A. D. & Ishihara, N. *Teaching and learning pragmatics: Where language and culture meet.*”; American Council on the Teaching of Foreign Languages, サンアントニオ大会, 2007年11月.

宇田川 勝 教授

- (コラム) 「日産館売却の真相」春光懇話会『春光懇話会会報 wave21』No.120, 2007年5月.
- (コラム) 「春光会の結成」春光懇話会『春光懇話会会報 wave21』No.121, 2007年8月.
- (監修) 『キリンビール100年史(映像版)』キリンホールディングス, 2007年9月.
- (共著) 『日本経営史(新版)』有斐閣, 2007年10月.
- (ワーキングペーパー) 「明治期財閥形成者の起業家活動」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, 『ワーキングペーパーシリーズ』No.47, 2007年11月.
- (ワーキングペーパー, 共編著) 「稲田震太郎 オーラル・ヒストリー」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『ワーキングペーパーシリーズ』No.50, 2008年3月.
- (共編著) 『ケース・スタディー 日本の企業家群像』文眞堂, 2008年3月.

遠田 雄志 教授

- (書評) 「笠谷 和比古 著『武士道と日本型能力主義』」法政大学経営学会『経営志林』第44巻第1号, 2007年4月.
- (論文, 共著) 「いじめを組織論する」法政大学経営学会『経営志林』第44巻第3号, 2007年10月.
- (講演) 「企業は誰のものか? H. サイモン理論をベースとして」日本公認会計士協会東京会, 2007年11月.

大下 勇二 教授

- (共著) 『地方行政革命 - 財政 / 経営 / 会計の統合研究 - (文化会計学会研究叢書第2巻)』富嶽出版, 2007年5月.
- (論文) 「フランス連結会計基準の国際的調和 (14)」法政大学経営学会『経営志林』第44巻第3号, 2007年10月.
- (著書) 『税務会計(改訂増補版)』法政大学通信教育部, 2008年3月.

大塚 裕史 教授

- (論文) 「プロジェクト管理のマネジメント・コントロールに関する一考察」福島大学経済学会『商學論集』第76巻第3号, 2008年3月.

小川 孔輔 教授

- (コラム) 「マーケティング・フィールドノート 第8回: フルオーダー・ジュエリーショップ ケイ・ウノ」ダイヤモンドフリードマン社『チェーンストアエイジ』通巻891号, p.126, 2007年4月.
- (コラム) 「マーケティング・フィールドノート 第9回: 上海ワールドカップ 世界の衣料品小売業のショーケース」ダイヤモンドフリードマン社『チェーンストアエイジ』通巻893号, p.134, 2007年5月.
- (コラム) 「マーケティング・フィールドノート 第10回: 新しい顧客層の開拓 フリーペーパー “In FLOWER” の創刊」ダイヤモンドフリードマン社『チェーンストアエイジ』通巻895号, p.190, 2007年6月.
- (コラム) 「マーケティング・フィールドノート 第11回: 日本マクドナルド地域別価格制導入の成否は?」ダイヤモンドフリードマン社『チェーンストアエイジ』通巻897号, p.102, 2007年7月.
- (コラム) 「マーケティング・フィールドノート 第12回: チェーンが異なると入店率と買上率は変わるか?」ダイヤモンドフリードマン社『チェーンストアエイジ』通巻899号, p.142, 2007年9月.

- (コラム) 「マーケティング・フィールドノート 第13回：伝えておきたいフィールド取材の経験値」ダイヤモンドフリードマン社『チェーンストアエイジ』通巻902号, p.102, 2007年10月.
- (論文) 「モノばかりあふれてコトのない日本市場では、王者の君臨を許し、高い粗利益の住関連小売業は成立し得ない！」ダイヤモンドフリードマン社『HOME CENTER』通巻196号, pp.46-47, 2007年10月.
- (コラム) 「マーケティング・フィールドノート 第14回：モンソー・フルール 自由が丘店の事例」ダイヤモンドフリードマン社『チェーンストアエイジ』通巻904号, p.118, 2007年11月.
- (コラム) 「マーケティング・フィールドノート 第15回：エキナカ店舗の立地・顧客特性 客の流れが速い、時間がない、待てない、そして、売場は狭い」ダイヤモンドフリードマン社『チェーンストアエイジ』通巻906号, p.102, 2007年12月.
- (コラム) 「マーケティング・フィールドノート 第16回：エキナカ店舗のオペレーション 速い客の流れへの対応と情報提示の方法」ダイヤモンドフリードマン社『チェーンストアエイジ』通巻907号, p.190, 2008年1月.
- (コラム) 「マーケティング・フィールドノート 第17回：ユナイティッドアローズ 経営の安定化装置(スタビライザー機能)の発見」ダイヤモンドフリードマン社『チェーンストアエイジ』通巻909号, p.134, 2008年2月.
- (論文) 「ヤオコー、4つの強み」ダイヤモンドフリードマン社『チェーンストアエイジ』通巻909号, pp.43-44, 2008年2月.
- (論文) 「地方の中小企業であることの強み」株式会社 経営ソフトリサーチ『中小公庫マンスリー』, pp.6-11, 2008年2月.
- (論文, 共著) 「多メディア環境下のテレビ視聴行動」日経広告研究所『日経広告研究所報』237号, pp.24-30, 2008年2月.
- (ワーキングペーパー) 「多メディア時代のテレビ視聴行動」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『ワーキングペーパーシリーズ』No.49, 2008年3月.
- (論文) 「京都ブランドの成り立ち - 都市としてのブランド形成の歴史的な変遷と今 - 」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター学術誌『イノベーション・マネジメント』No.5, 2008年3月.
- (コラム) 「マーケティング・フィールドノート 第18回：ロック・フィールド新浦安の記録から 最適な客溜まりは6人！レジ台数当たりで1.5人前後」ダイヤモンドフリードマン社『チェーンストアエイジ』通巻911号, p.138, 2008年3月.

川喜多 喬 教授

- (著書, 共著) 『大学のキャリア支援 - 実践事例と省察 - 』経営書院, 2007年11月.
- (著書, 共著) 『キャリアデザインへの挑戦：58人のキャリアデザイン論』経営書院, 2007年9月.
- (講演記録) 「人材こそが日本の誇り～育成に投資を惜しむな～」電機連合『電機連合 NAVI』2007年5月.
- (講演記録) 「こんな会社に入がくる：すぐれた中小企業の人材確保と育成」浜銀総合研究所『ベストパートナー』第19巻第10号, 2007年10月.
- (講演記録) 「再来した若年労働力不足時代：人材育成に投資する企業が人を集める」広島県労働協会『NETWORK』39号, 2007年10月.
- (事例報告) 「3S 徹底教育の町工場に年間500人の見学者」中央職業能力開発協会『能力開発21』第29巻第3号, 2008年3月.
- (事例報告) 「高級旅館のもてなしを支える『笑顔で気働き』教育」中央職業能力開発協会『能力開発

21』第29巻第2号, 2008年2月.

- (事例報告) 「考える力を磨く『150字週報』と企業内学校(スコーレ)」中央職業能力開発協会『能力開発21』第29巻第1号, 2008年1月.
- (事例報告) 「一貫製造を支える縦横のコミュニケーションと生産技術蓄積」中央職業能力開発協会『能力開発21』第28巻第4号, 2007年4月.
- (事例報告) 「工具も磨き, 人も磨くマイスター集団は, カウンセリングも充実」中央職業能力開発協会『能力開発21』第28巻第9号, 2007年9月.
- (提言) 「中小企業の人材育成: この眼で見て, 足で確かめた～優れた中小企業はここが違う」産労総合研究所『企業と人材』第40巻第902号, 2007年5月.
- (提言) 「『人的資源管理』の時代の人材採用」メディカ出版『ナーシング・ビジネス』第7巻, 2007年7月.
- (提言) 「組織内コミュニケーションの向上～壁を壊し橋をかけねばならぬ時代～」日本産業訓練協会『産業訓練』第53巻第622号, 2007年7月.
- (提言) 「いま社会に求められる学生像: 世の中が本当に必要とする人材になるために」電通育英会『IKUEI NEWS』第40巻, 2007年10月.
- (提言) 「次世代リーダーの育成は育成する側の成長機会: うまく機能すれば職場は真の『学校』に」日本経営教会『OMNI-MANAGEMENT』第17巻第3号, 2008年3月.
- (提言) 「職業キャリア大変動時代の人材マネジメント・トレンドーこれからの人材の定着・育成のためには」愛知県経営者協会『愛知経協』694巻, 2008年1月.
- (提言) 「キャリア教育を『流行』で終わらせないために～問題はいっぱいだが試行錯誤を続けよう～」協同出版『教職課程』第33巻第12号, 2007年8月.
- (提言) 「『採れる』採用戦略, 『育つ』キャリア戦略に欠かせない5ポイント」日本商工会議所『石垣』2007年4月.

木村純子 准教授

- (論文) “What is Authentic Culture? Hyperreality Strategy at Santa Village in Finland”, Association for Consumer Research, *Asia Pacific Advances in Consumer Research*, 8, 2007.
- (論文, 共著) “What's Gorgeous Consumption?”, Association for Consumer Research, *Advances in Consumer Research*, 34, 2007.
- (学会発表, 共同研究) “Consuming Whiteness in Asia”, Consumer Culture Week Conference, 2007年5月.
- (論文, 共著) 「ゴージャス消費の意味と形に関する理論的・経験的研究 - 豪華消費に関する日米比較調査 -」財団法人吉田秀雄記念事業財団, 平成18年度助成研究集 第40次, 2007年6月.

倉田俊彦 教授

- (著書) 『数学(法政大学通信教育部教科書)』法政大学通信教育部, 2008年3月.
- (学会発表) “On sheaves of dcpo”, 首都大学東京, 2007年度証明論研究会, 2007年12月.

金容度 教授

- (論文) 「高度成長期における自動車用鋼材の取引」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, 『イノベーション・マネジメント』No.4, 2007年3月.
- (論文) 「経済危機後のサムスン電子の変化」電機連合本部(JEIU), 『電機連合NAV』2007年6月号I, 2007年6月.

- (論文) 「中国製造業における企業家叢生のメカニズム - 金型産業の事例」法政大学経営学会『経営志林』第44巻第3号, 2007年10月.
- (論文) 「市場の組織化についての事例研究 - 中国金型産業の事例 - 」法政大学経営学会『経営志林』第44巻第4号, 2008年1月.
- (報告書, 共著) 「東北アジア製造業の分業構造と雇用関係[] (韓国語)」韓国労働研究院, 2007年6月.
- (報告書, 共著) 「韓国の中小企業家についての事例研究 - 日韓比較の観点から - 」法政大学比較経済研究所『Working Paper』No.136, 2008年3月.
- (報告) 「鉄鋼業の設備投資と取引の組織化」高度成長期研究会 (於東京大学), 2007年8月.

近 能 善 範 准教授

- (論文) 「日本自動車産業における関係的技能の高度化と先端技術開発の深化」東洋経済新報社『一橋ビジネスレビュー』55巻1号, 2007年6月.
- (論文) 「日本自動車産業における先端技術開発協業の動向分析 - 自動車メーカー共同特許データの Patent マップ分析 - 」法政大学経営学会『経営志林』第44巻第3号, 2007年11月.
- (論文) 「自動車のエレクトロニクス化と先端技術開発協業」東京大学ものづくり経営研究センター『ディスカッションペーパー』2008-MMRC-198, 2008年3月.
- (論文) “Enhancement of the advanced R&D cooperation between automakers and suppliers in the Japanese automobile industry”, 東京大学ものづくり経営研究センター, *Annals of Business Administrative Science*, 2008年3月.
- (書評) 「『日本企業のネットワークと信頼』(若林直樹, 有斐閣)」白桃書房『組織科学』Vol.40(3), 2007年4月.
- (書評) 「『企業戦略を考える - いかにロジックを組み立て, 成長するか - 』(浅羽茂・須藤美和, 日本経済新聞社)」海外投融資情報財団『海外投融資』Vol.17(1), 2008年1月.
- (報告) 「日本自動車産業におけるサプライチェーンの変化」経済産業省『我が国製造業を取り巻く環境変化と競争力維持・強化に関する研究会』第8回会合, 2007年11月26日.
- (報告) 「自動車産業のサプライチェーンの変化と今後の取引構造のあり方について - 定量的分析と, そこから得られる今日の下請問題への教訓について - 」中小企業庁『今後の中小企業と大企業間の取引のあり方を考える研究会』第2回会合, 2008年3月18日.
- (WEB 雑誌インタビュー) 「進むサプライヤーの“絞込み”, 中核的サプライヤーは10分の1の20社に - 法政大学准教授・近能善範氏に聞く - 」(株)テクノアソシエーツ『テックオン Automotive Technology』2007年12月.

佐 藤 康 男 教授

- (雑記) 「学問に王道なし」中央経済社『会計人コース』2007年6月.
- (論文) 「マネジメント・ダイナミックス」法政大学経営学会『経営志林』第44巻第4号, 2008年1月.

鈴 木 武 教授

- (論文) 「パレート分布とユール分布との対応関係」法政大学経営学会『経営志林』第44巻第1号, 2007年4月.
- (論文) 「参入下限値を単位としたベキ乗則生成モデル」法政大学経営学会『経営志林』第44巻第2号, 2007年7月.
- (論文) 「左右の観点からみた都市のあり方」法政大学経営学会『経営志林』第44巻第4号, 2008年1月.

竹内 淑恵 教授

- (論文) 「製品パッケージの情報処理とコミュニケーション戦略」日経広告研究所『日経広告研究所報』234号, pp.30-37, 2007年8月.
- (論文, 共著) 「International Cultural Creatives Survey (ICCS) Project “The Cultural Creatives in Japan” 最終報告書」2007年12月.
- (学会発表, 共同研究) 「顧客の知覚品質を高めるための統合マーケティング(IM)の成功要件」日本消費者行動研究学会, 2007年6月.
- (学会発表, 共同研究) 「広告表示に対する消費者反応の分析 - 携帯電話の通話料金プラン選択における購買意思決定 - 」日本広告学会, 2007年12月.
- (プロジェクト研究発表, 共同研究) 「第49回ワークショップ『広告表示等に対する消費者行動の分析 - 携帯電話の通話料金プラン選択等における購買意思決定 - 』(研究計画報告)」公正取引委員会 競争政策研究センター, 2007年7月.
- (プロジェクト研究発表, 共同研究) 「第52回ワークショップ『広告表示等に対する消費者行動の分析 - 携帯電話の通話料金プラン選択等における購買意思決定 - 』(中間報告)」公正取引委員会 競争政策研究センター, 2007年12月.

入戸野 健 教授

- (著書, 共著) 『実習 Word』サイエンス社, 2008年3月.

平田 英明 准教授

- (新聞) 「経済教室:『フォワードルッキング』な金融政策」日本経済新聞社『日経新聞』2007年4月.
- (論文, 共著) 「動学的一般均衡モデルへの招待」日本経済研究センター『日本経済研究』57, 2007年7月.
- (論文) 「景気変動と住宅金融」住宅金融支援機構『住宅金融』2, 2007年8月.
- (論文) 「動学一般均衡モデル」内閣府『月刊 ESP』426, 2007年9月.
- (報告書) 「回復から革新へ - 銀行と生保の行方」日本経済研究センター『日本金融研究』17, 2007年10月.
- (論文) 「モンテカルロ法, ブートストラップ法, カリブレーション法」朝倉書店, 蓑谷他編『計量経済学ハンドブック』2007年11月.
- (論文, 共著) 「景気減速下での金融政策」日本経済研究センター『日本金融研究』18, 2008年2月.
- (報告書) 「エネルギー価格上昇下の物価と金融政策」日本経済研究センター『日本金融研究』18, 2008年2月.

福田 淳児 教授

- (資料) 「事業部間での知識の移転とマネジメント・コントロール・システムの設計 - 郵送質問票調査の結果 - 」法政大学経営学会『経営志林』第44巻第2号, 2007年7月.
- (資料) 「日本企業における管理会計担当者の役割・知識・経験についての実態調査」法政大学経営学会『経営志林』第44巻第3号, 2007年10月.

洞口 治夫 教授

- (査読つき論文) “Economic Analysis of Free Trade Agreements: Spaghetti Bowl Effect and a Paradox of Hub and Spoke Network, ” *Journal of Economic Integration*, Vol.22, No.3, pp.664-683, 2007

年11月.

- (学会報告) 「多国籍企業の研究開発拠点における産学連携の利用と評価 - イノベーション・クラスターへの評価基準に関する試論 - 」多国籍企業研究会東部例会, 於・上智大学10号館301号室, 2007年4月7日.
- (調査報告書) 日本学術振興会・科学研究費補助金基盤研究(A)「産業クラスターの知的高度化とグローバル化」課題番号162003022, 平成16(2004)年度~平成18(2006)年度・研究成果報告書.
- (国際セミナー・司会) 「フィンランドの国際競争力と教育制度 - イノベーションをいかに誘発するか - 」(International Competitiveness and Education System of Finland: How Do We Induce Innovation?). 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター・国際セミナー, 於・法政大学市ヶ谷キャンパス, ボワソナード・タワー26階スカイホール, 2007年4月27日.
- (学会コメント) 水野英雄「安全規制による貿易政策への影響」日本経済政策学会, 第64回全国大会自由論題報告へのコメント, 於・慶應義塾大学三田キャンパス, 2007年5月27日.
- (資料) 「学部ゼミナールにおける経営学教育の方法と実践 - 工場見学・英語教育・論文作成とインターゼミナール - (3)」法政大学経営学会『経営志林』第43巻第3号, pp.23-45, 2007年7月.
- (国際講演会・司会) “Designing Industrial Policies for France after the Elections: What is to be Done?” (フランス総選挙後に向けた産業政策のデザイン - 何をなすべきか -), 講師・Prof. Jean-Louis Mucchielli, Ph.D. ジャン＝ルイ・ムキエリ教授, 法政大学市ヶ谷キャンパス(富士見校舎)ボアソナード・タワー26階会議室 A, 2007年7月21日.
- (国際ワークショップ・研究報告) International Comparison of Innovation Policy: Europe and Japan, Kick-off Meeting at Hosei University, Tokyo. イノベーション政策の国際比較: ヨーロッパと日本(第1回ミーティング・法政大学), The Purpose of the Workshop: From Industrial Policy to Innovation Policy(ワークショップの目的: 産業政策からイノベーション政策へ), Professor Jean-Louis Mucchielli ジャン・ルイ・ムキエリ教授(パリ第一大学)との共同。法政大学市ヶ谷キャンパス(富士見校舎)ボアソナード・タワー25階, イノベーション・マネジメント研究センターセミナー室, 2007年7月25日.
- (論評) 「企業経営とフィールドワーク - 集合知としての観察経済学 - 」『経済評論』, No.629, 2007年8月号, pp.36-39.
- (監訳) フィリップ・コトラー, ヘルマワン・カルタジャヤ, ホイ・デンファン『ASEAN マーケティング - 成功企業の地域戦略とグローバル価値創造 - 』マグルウヒル・エデュケーション, 2007年9月25日.(Philip Kotler, Hermawan Kartajaya, and Hooi Den Huan, *Think ASEAN! Rethinking Marketing towards ASEAN Community 2015*, McGraw Hill Education, 2007.)
- (招待講演) 「日本における研究所の独立行政法人化 - イノベーション創生政策の新展開 - 」Establishment of “Independent Administrative Institute” from Research Agency in Japan: New Development of Innovation Creation Policy, 財団法人資策会工業策進会・資策会資訊市場情報中心(Institute for Information Industry, Market Intelligence Center, Innovation Foresight), 国際標準科技研究機構研究, 於・福華国際文教會館, 台北市, 2007年10月15日.
- (国際シンポジウム・セッションチェア) アジア - パシフィック自動車フォーラム 東京 2007「新たな環境文明へ向けて進化するアジア自動車産業のグローバル化」セッション1. 「自動車産業の進化, 競争力とゼロエミッション」, 法政大学ボアソナード・タワー 26階スカイホール, 主催・東京大学ものづくり経営研究センター, 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, 2007年10月26日.
- (学会コメント) 国際ビジネス研究学会, 第14回全国大会, 黒川基裕「タイ国自動車産業におけるもの

づくり能力の構築：承認図生産に向けたタイ系部品メーカーの対応」への司会・コメント。於・高崎経済大学，2007年10月28日。

- (学会コメント) The 6th International Conference of the Japan Economic Policy Association, “*Economic Growth and Differentials: How Can We Harmonize Growth and Equality?*” Comment on Nyein Nyein Thaug, “Technology Transfer through Foreign Direct Investment in Myanmar.” Hosei University, Ichigaya Campus, December 8th, 2007.
- (研究報告) 「経営学における方法を問う - フィールド・リサーチを中心に - 」2007年度・現代経営学研究会，於・文部科学省共済組合「静雲荘」，2007年12月26日，27日。
- (編著書) 『ファカルティ・ディベロプメント - ゼミナール編 - 』白桃書房，2008年3月。

柳 沼 寿 教授

- (論文) 「地域社会における技能習得と教育の職業的意義」法政大学経営学会『経営志林』第44巻第1号，2007年4月。
- (書評) “The Role of Labour Mobility and Informal Networks for Knowledge Transfer”，法政大学経営学会『経営志林』第44巻第1号，2007年4月。
- (講演) 「大学資金運用・ガバナンス研究誌上セミナー」(株)クライテリア『オル・イン』Vol.6，2007年冬期。
- (講演) 「地域社会における技能習得と教育の職業的意義」(財)産業研究所 中小企業研究会，2007年7月23日。

矢 作 敏 行 教授

- (論文) 「小売国際化プロセスをどう捉えるか」学校法人中内学園流通科学研究所『流通研究会第一回ワークショップ実施報告書』2007年12月。
- (エッセイ) 「スエズ運河の向こうで学んだこと - 『小売国際化プロセス』を書き終えて」有斐閣『書齋の窓』2007年6月。
- (対談記録) 「日本チェーンストア経営は世界水準に達するか」(ユニクロ柳井正氏と)，商業界『販売革新』2007年7月号，2007年7月。
- (対談記録) 「日本チェーンストア経営は世界水準に達するか」(しまむら藤原秀次郎氏と)，商業界『販売革新』2007年8月号，2007年8月。
- (対談記録) 「日本チェーンストア経営は世界水準に達するか」(セブン・イレブン北京牛島章氏と)，商業界『販売革新』2007年9月号，2007年9月。
- (対談記録) 「日本チェーンストア経営は世界水準に達するか」(華糖ヨーカ堂麦倉弘氏，イオン(中国)田中秋人氏と)，商業界『販売革新』2007年10月号，2007年10月。
- (対談記録) 「日本チェーンストア経営は世界水準に達するか」(良品計画松井忠三氏と)，商業界『販売革新』2007年12月号，2007年12月。
- (対談記録) 「日本チェーンストア経営は世界水準に達するか」(ファミリーマート上田準二氏と)，商業界『販売革新』2008年1月号，2008年1月。
- (対談記録) 「日本チェーンストア経営は世界水準に達するか」(ハニーズ江尻義久氏と)，商業界『販売革新』2008年2月号，2008年2月。
- (対談記録) 「日本チェーンストア経営は世界水準に達するか」(経済産業省浜辺哲也氏と)，商業界『販売革新』2008年3月号，2008年3月。
- (講演記録) 「世界水準を目指す我が国小売業の課題」流通経済研究所『流通情報』No.459，2007年9月。

- (シンポジウム記録) 「流通革命40年の軌跡」, 「21世紀の流通イノベーションの方向」日本チェーンストア協会『日本チェーンストア協会設立40周年記念特別シンポジウム講演録』2007年12月.
- (学会報告) 「もう一度、小売形態発展論」日本商業学会関西西部会, 2007年12月.

菊 谷 正 人 教授

- (論文) 「三角合併の課税上の問題点」税務経理協会『税経通信』第62巻第5号, 2007年4月.
- (論文) 「国際会計基準第16号『有形固定資産』の総合的・分析的検討」法政大学経営学会『経営志林』第44巻第1号, 2007年4月.
- (論文) 「環境保護税制の新展開」税務経理協会『税経通信』第62巻第6号, 2007年5月.
- (論文) 「保険契約に関する税務上の問題点(上)」税務経理協会『税経通信』第62巻第8号, 2007年6月.
- (論文) 「保険契約に関する税務上の問題点(下)」税務経理協会『税経通信』第62巻第10号, 2007年7月.
- (論文) 「税務相談制度・事前照会制度の現状と課題」税務経理協会『税経通信』第62巻第11号, 2007年8月.
- (論文) 「有形固定資産の取得原価と資産除去債務」税務経理協会『税経通信』第62巻第12号, 2007年9月.
- (論文) 「自己株式の取得に伴う所得税法上の問題点」税務経理協会『税経通信』第62巻第12号, 2007年9月.
- (論文) 「税理士制度の課題(上)」税務経理協会『税経通信』第62巻第16号, 2007年12月.
- (論文) 「税理士制度の課題(下)」税務経理協会『税経通信』第63巻第1号, 2008年1月.
- (論文) 「資産除去費用の会計処理法に関する比較分析」財務会計研究学会『財務会計研究』第2号, 2008年3月.